

ガバナー一月信

最終号

2021-22



月信最終号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 地区幹事挨拶
- ③ 地区財務委員挨拶
- ④ ガバナー補佐挨拶
- ⑤ 各委員会等の報告
- ⑥ ロータリー奉仕デーの報告
- ⑦ 2021-22年度 財団・米山奨学寄付の報告



国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度

高尾ガバナー事務所

新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F
TEL: 025-222-2561 FAX: 025-222-2565



1年間を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 ガバナー

高尾 茂典 (新潟中央 RC)

皆様、こんにちは。ガバナーとしての 1 年間を振り返ると、沢山の地区内行事に参加し、その都度多くのロータリアンの皆様よりお力添えをいただきました。4 大会、ロータリー奉仕デー、各委員会、周年行事等多くの機会をいただき、一つ一つが各委員長はじめリーダー、そして支える委員の皆様のお力添えで大きな成果をあげることができました。私にとっても、一つ一つが皆様との素晴らしい出会いであり、目標に向かって委員会を重ねることで、願った以上の成果を皆様と共有することが出来ました。

振り返ってみると 3 年前の 5 月から、指名委員長はじめパストガバナーの皆様から多くの温かいご指導と応援をいただいたおかげで、秋にガバナー候補として要請を受けさせていただきました。ノミネーとして登録させていただくことになり、まもなくの神戸ポートピアでのロータリー研究会での 4 日間は、私のロータリー人生にとって、衝撃的であり、ロータリーの素晴らしさ、そして奥の深さに沢山の学ぶ機会と感動をいただいたことを、今も鮮明に覚えております。そして、エレクトとしての 1 年間も、様々な行事に参加させていただくことで、多くのロータリアンとの出会いをいただき、学びや経験をさせていただきました。

本年度は、前年度に続いて、頸北 RC、そして五泉 RC の 2 つのクラブが RI を脱会することになり、十分なサポートが出来なかったことが残念です。なんとか、この地区の運営のためにやるべきことを考え、地区再編検討委員会を設立し、将来の分区のあり方、輪番制等、改革の必要も感じ、進めさせていただいております。また、各クラブのさらなる活性化の為、悩みや問題点を共有するためのサポートチームを作らせていただきました。地区が元気に歴史を重ねながら、各クラブが RI そして地区の目標・テーマを理解され、何よりも各クラブのメンバーが、ロータリアンとして、生きがいや夢を持って奉仕活動が出来る環境を造るためのお手伝いをしなければならない、と考えております。RLI の導入は年度の目標の一つではありましたが、期待に応えることが出来なかったと思っております。

公式訪問では、各クラブ会長・幹事はじめロータリアンの皆様からクラブの活動について独創的な奉仕活動や新しいスタイルでの様々な取り組み等をご紹介いただき、大変参考になりました。多くのことを学ぶことが出来ました。これも、ガバナー補佐のお力添えがあったからこそ、この様な素晴らしい経験をさせて頂くことが出来たと思っております。同期のガバナーと、3 年前のロータリー研究会で出会い、国際協議会でシェカール・メータ RI 会長方針を 10 日間の研修で、共に学び、毎晩時間を忘れて意見交換出来たことも大きな喜びです。

年度の RI テーマ「Serve to Change Lives 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」「奉仕することで、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになる。」これを、すべてのロータリアンの皆様とこれからも共有したいと思っております。

結びに、出会いをいただいたロータリアンの皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げ、皆様のご多幸、そして、クラブ、地区のさらなる発展を願い、感謝と御礼の詞といたします。



地区幹事を終えて

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 地区幹事

浅妻 信 (新潟中央 RC)

2022 年 6 月末をもって高尾年度は終了し、私の地区幹事の任期はあと 1 年残るものの、7 月に入った途端、連日、仕事に支障を来すほど鳴り響いていた電話やメールがピタリと止まりました。年度を終えた実感が沸くとともに、改めて地区幹事としての職務の大変さを知ることとなりました。

年頭の挨拶でも申し上げたとおり、私が地区幹事になることは当初予定されていたことではありませんでした。私は経営者ではなく、士業という名の労働者に過ぎません。補助的な業務はともかく、社内に私の代わりに業務を進めてくれる者もおらず、地区役員の実験も飾り程度にある程度でした。ところが、高尾年度の事実上のスタートとなる第 2 回の地区運営会議の前日に急遽、就任を打診され、腹をくくりました。高尾ガバナーを支え、この地区の歴史と伝統を次の年度に繋ぐ。この最低限のミッションを自分に課しましたが、年度の当初は、私の力不足もあり、皆様に多大な心配とご迷惑をおかけしたことと思います。皆様のご指導とガバナー事務所スタッフのご協力、そして高尾ガバナーの暖かい励ましを賜りながら、なんとかゴールまでたどり着けたかなというのが正直なところです。

さて、年度を振り返りますと、前年度に引き続き、刻一刻と変化する COVID-19 の感染状況に悩まされた 1 年となりました。ハイブリッド方式で行った PETS、地区研修・協議会にはじまり、ゴルフ大会、地区大会は年明けに日程変更をしたにもかかわらず、デルタ株の感染拡大により、直前に中止も検討しなくてはならない事態になりました。しかし、2 年ぶりにほぼフルスペックで開催した地区大会は、皆様のご協力のもと、素晴らしい大会となり、高尾年度の最後を締めくくる思い出深いものになりました。また、多くのクラブにご参加いただいた 6 月のロータリー奉仕デーは、地域社会や人々を元気に、そして豊かにするための活動の推進になったかと思いません。

地区幹事は確かに大変な業務でしたが、ともに地区の運営で苦労し、汗をかいた皆様とは年代を超えて絆が深まり、大いに友好を深めることができました。実社会と同じで、待っていただけでは何も起こりません。自ら能動的に活動することで、何かが生まれると思います。それこそロータリーの真髄と感じました。

今後もこの貴重な体験を活かし、ロータリーと地区の発展に微力ながら尽力して参りたいと思います。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



2021-22 年度を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 地区財務委員

水戸部 修一 (新潟中央 RC)

「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」という地区運営方針のもとにスタートし、制約の中でも精力的な活動ができることを念頭に置いた予算ではありましたが、当年度も COVID-19 の影響を受け、各種活動も大きく制限されました。各委員長におかれましては、意欲的なご計画に対して思うような活動を行えず、満足のいかない部分も残されたものと存じます。

シェカール・メータ RI 会長が目標とされた「会員拡大」のもと、現行会員数の維持は図られると見込み、予算編成の土台となる会員数は 2070 名としておりましたが、残念ながら脱退されるクラブも出るなど、組織の維持拡大の難しさも再認識いたしました。

しかし、この COVID-19 禍の中でも、4 大大会となる PETS・地区運営協議会・地区大会記念ゴルフ大会・地区大会、そして各分区における IM を設営方法の工夫や時期の調整を経て、盛会のうちに無事に実施していただくことが出来ました。開催に際しては、「生活様式変化への対応」という一言では片づけられない程のご苦労とご心労があったものと存じます。柔軟に対応していただいた素晴らしい成果であり、関係各位のご尽力に敬意を表します。

結びに、知識も経験もない中で大役を仰せつかりましたが、予算編成と執行を滞りなく進めることができましたのも、先輩諸氏のアドバイスと地区事務所スタッフのサポートをいただいたからに他なりません。この場をお借りし、改めて御礼申し上げます。皆さま 1 年間ありがとうございました。



1 年を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 第 1 分区ガバナー補佐
羽田 庄一（水原 RC）

昨年 7 月に高尾年度がスタートしました。7 月、8 月、9 月と新型コロナウイルスの第 5 波、8 月の東京オリンピック・パラリンピックは、緊急事態宣言のなかでの開催になりました。このようなコロナ禍で、公式訪問は 8 クラブがオンライン、1 クラブが直接訪問となりました。

私は、ガバナー補佐として 4 回（公式訪問を入れ）各クラブを訪問しましたが、改めて、クラブによって例会の在り方が違うことを感じるとともに、コロナ禍でさまざまな対応を取りながら、例会を行っていることを知りました。私が入会した時、ロータリーは第一に例会に出席すること、他のクラブにメーキャップに行くことと言われました。今その意味が分かったような気がします。メーキャップに行くことで他のクラブの例会の在り方を知り、いい所は取り入れ、例会を厳粛な中でも楽しくすることで会員増強や退会防止につながると思います。この 2 年間、コロナ禍で行動が制限されましたが、今後、特に新入会員にはメーキャップをしていただきたいと思います。

そして、社会奉仕活動です。各クラブとも、さまざまな奉仕活動を行っていることと思います。単年度事業、継続事業がありますが、それぞれの活動に敬意を表したいと思います。分区内 2 クラブの社会奉仕事業に出席させていただきました。それぞれシェカール・メータ RI 会長のテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かするために」に沿った、また、RC の公共イメージ向上に貢献する素晴らしい社会奉仕事業でした。

ガバナー補佐としての一大事業 IM は、会場出席者のほか、会員に WEB 配信とする、ハイブリッド方式としました。感染者が減少し懇親会を行うことができたことは幸いでした。

コロナ禍での 1 年間でしたが、各クラブを訪問し、会長幹事、会員の皆さんと出逢えたことは、私にとって貴重な経験となりました。これを糧に、今後ロータリー活動を続けたいと思います。1 年間、ありがとうございました。



2021 年 10 月 23 日 IM



2022 年 6 月 4 日第 3 回会長幹事会



2021-22 年度を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 第 2 分区ガバナー補佐
片山 政博 (新潟東 RC)

振り返ってみますと、コロナ禍で始まり、コロナ禍で終わった一年となり、地区大会はじめ各種行事は秋から春へと先送りとなった異例の年度となりました。

そのような中でしたが、高尾ガバナー公式訪問は、直接訪問 5 クラブとオンライン訪問 4 クラブを予定通り実施することができました。高尾ガバナーと和やかな雰囲気の中、会長・幹事・役員と意見交換をさせていただきました。その後、会員の皆様と高尾ガバナーの講話をお聞きし、クラブ協議会へと進み、有意義な時間を過ごすことができました。

6月18日は、ロータリー奉仕デーとし、2560地区全体で県内海岸、河川、湖沼等の環境美化を掲げ、一斉清掃を実施しました。第2分区は、9クラブ254名の皆様に奉仕の汗を流していただきました。暑い中、ご苦労様でした。

6月26日は、第2分区のIMをようやく開催することができました。第1部（ロータリー学校 in IM）、第2部（講演会 千代里様）、第3部（懇親会）の内容で、コロナ禍にも拘らず9クラブ152名のご参加をいただき、無事に終了することができました。

約一年半、思い出に残る貴重な経験を積ませて頂きました。高尾ガバナーはじめ地区役員の皆さん大変お世話になり、ありがとうございました。

各クラブ会長・幹事さんをはじめ、会員の皆様には多大なるご協力を誠にありがとうございました。深く感謝申し上げます。



2021-22 年度を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 第3分区ガバナー補佐
山口 高司 (新津 RC)

第3分区ガバナー補佐を務めさせていただきました新津 RC の山口です。

国際ロータリー会長のテーマ「奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために」、及び高尾ガバナーの地区運営方針「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう」を合言葉に、地区の諸事が万事順調に運ぶよう分区内においてガバナーの管理運営を支援しつつ、分区内各クラブの皆さんと連携し絆を深めながら、明るく楽しい第3分区を目指して微力ながら務めて参りました。

具体的には、2021年6月13日(日)に高尾年度の第1回会長・幹事会を開催し、ガバナー公式訪問や IM、クラブ戦略計画、ロータリー奉仕デー、各クラブの状況等について協議や意見交換などを行いました。

補佐としてのクラブ訪問は、8月5日(木)から10月5日(火)までの間に順次実施し、ガバナー公式訪問の事前協議を中心に意見交換等を行いました。

ガバナー公式訪問は、9月9日(木)の五泉・阿賀野川ライン RC の合同・直接訪問を最初に、他は全てオンライン方式で実施し、いずれも高尾ガバナーから講話やご指導を頂き、更に会員との率直な意見交換などが行なわれて大変有意義な公式訪問でした。

IM につきましては、COVID-19 の感染拡大もようやく落ち着き、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置、警報なども8月末で解除される中で通常の開催を模索いたしましたが、ワクチン効果の低下やブレイクスルー感染の恐れ、感染症の流行「第6波」の到来なども懸念され、諸般の事情を勘案して安全・安心の確保を最優先することとし、変則的ではありますが、通常の開催を取りやめて紙面による「誌上開催方式」とし、それを記録として冊子に取り纏め、関係する皆様にお届けいたしました。

5月22日(日)に「ガバナー補佐杯争奪ゴルフ大会」を開催して親睦を深め、6月18日(土)には「ロータリー奉仕デー」を一斉に実施いたしました。

以上、1年間の活動を振り返って、第3分区は会員数こそ少ないもののその心には非常に熱いものがあることを改めて実感し、ロータリーの良さを再認識するなど、非常に良い経験となりました。

この1年間、力不足の私に多くの皆様からご支援・ご協力を頂き、心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。



2021-22 年度 ガバナー補佐の 1 年を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 第 4 分区ガバナー補佐

外山 晴一 (三条北 RC)

ガバナー補佐を拝命したときは、「大変なんだろうな。できるのかな」というのが率直な感じでした。クラブの皆さんに推薦され、激励された以上、大変なんだろうがやるしかないと思って、7月のスタートを迎えました。

COVID-19 が吹き荒れ、ガバナーの公式訪問は、ほとんどオンラインになりました。せめて、私だけでも事前訪問とガバナー公式訪問日は直に顔出しさせてもらおうと、ガバナー補佐スタッフの皆さんと第 4 分区の 11 クラブを回らせてもらいました。どこのクラブでも、大変気持ちよく、お迎えいただきました。また、どのクラブにも知っている人がおられて、アットホームな感じで訪問してもらいました。皆さんのお陰で、「案ずるより産むが易し」でした。公式訪問では、高尾ガバナーは、すべての質問に丁寧に答えておられました。私にはとてもできないことだと感心して、拝聴、拝見していました。

この期は、COVID-19 のため、懇親会がほとんどありませんでした。私ども三条北ロータリークラブ主催の IM も、感染防止のため懇親会なしとなりました。しかし、ロータリークラブの一丁目一番地は、親睦です。2022-23 年度は、COVID-19 も収まり、巻クラブの渡辺ガバナー補佐のもと、第 4 分区でも盛大に懇親会が復活することを願っています。しかし、第 7 波とやらで、BA.5 変異種が勢いを増しています。BA.2.75 による第 8 波も心配されており、気になります。

このように COVID-19 が荒れ捲くっている中で、ウクライナ・ロシア戦争が起こるなど、大変な 1 年間でした。しかし、会員各位のロータリアンとしての暖かい友情と、高尾ガバナーはじめ、地区幹事、事務局の皆様のお陰で、何とかやって来られました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



ガバナー補佐の1年を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 第 5 分区ガバナー補佐
笠原 廣 (長岡 RC)

高尾ガバナー年度は、前年の佐藤年度に引き続き“COVID-19”が収まらず、7月からの第5波による感染拡大の影響で、各クラブでは「通常例会」がままならない中でのスタートでした。そんな中、『奉仕活動を通じて人生を豊かにする』という RI 会長テーマの下、各クラブではそれぞれ工夫を凝らしながらロータリー活動を展開されていることに感謝すると共に、刺激を与えられました。

ガバナー公式訪問前の事前訪問は、全7クラブへ直接の例会参加とさせて頂きました。各クラブの皆様には、色々と御手数をお掛けしましたが、直接訪問させて頂いたことで、それぞれのクラブともに、奉仕活動と会員同士の親睦に独自の工夫が施され、温かい雰囲気を感じさせていただきました。そして、ガバナー公式訪問は、全て“オンライン開催”となり、若干音声途切れるなどもありましたが、この状況下での開催ではやむを得ないこととロータリアンの寛大な御心でお許しを賜りました。御礼申し上げます。

さて、IM 開催については、“COVID-19 第6波(オミクロン株)”の急速な感染拡大で、『実施出来るか、出来ないか』と“ハラハラ”させられる中での挙行で、多くのロータリアンには大変な心労をお掛け致しました。それでも、IM 実行委員会の皆様や関係者の方々には実施することを前提として準備を進めて頂き、大変感謝しております。そして、本会議では、『災害予防に於けるロータリー活動の共助』をテーマに、様々な自然災害に翻弄される毎日から解放され、見通しの立てられる生活を送るために、ロータリアンとして『「業助」「共助」を通して出来ることは何か?』を考える機会となりました。また、懇親会では、多くのロータリアンが【まん延防止等重点措置】などで“うっ積した気持ち”から解放され、昔懐かしいリズムにしたりながら懇親を深め、“和気あいあい”の内に進められたことは大変良かったと考えています。

今年度は、「ガバナー輪番制手順」に従って、第5分区から“2024-25 年度ガバナー候補者推薦”の任に当たりました。指名委員長である田中パストガバナーの下、2回の《第5分区クラブ会長会》を経て、長岡 RC の“南雲博文氏”が選出されました。今後、南雲年度に向けて様々な準備活動が開始されますが、第5分区の次年度ガバナー補佐である柏崎 RC の“品田孝行氏”へバトンをお渡しし、後方から引き続き応援して行きたいと考えております。

第 2560 地区の事務局をはじめロータリアンの皆様、特に第5分区のロータリアンの皆様、1年間大変お世話になりました。感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。ありがとうございました。



IM を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 第 6 分区ガバナー補佐
青柳 功 (小千谷 RC)

私にとって、ガバナー補佐を拝命されてから年度が終わるまで、任期中はとても長い日々に感じましたが、終えてみると短く感じるようになりました。あれも出来なかった、これも出来なかったと、新型コロナウイルスの 5 波 6 波に言い訳を作っていたように思います。

シェカール・メータ RI 会長の「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために。」、高尾茂典ガバナーの「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう。」、このテーマを分区内の会長、幹事さんと共に、分区内のロータリアン全員に自覚を持ち行動に移してもらうことの難しさを痛感した 1 年でした。

インターシティーミーティング (IM) は、ガバナー補佐の仕事の中でも一番の使命だったと思っていました。当初は昨年 9 月に開催する予定でございましたが、ウイルス感染拡大に伴い、やむなく延期。その開催時期や方法を検討してまいりました。しかし、一向に収束の目途が立たない現状では中止せざるを得ないとの判断に達し、その旨、分区内の各クラブへご説明、ご相談させて頂きました。各クラブへ訪問する中、2 月からのウクライナへのロシアからの一方的な軍事侵攻から、ウクライナの罪なき人々が命を守るため大切なものを残し、国境を越え、避難している姿を何とか出来ないか、支援をしようではないかという意見が多くあがりましたので、IM をウクライナへの人道支援としました。地区への支援金受付期限が迫る 2 週間くらいの間で、一般市民や、企業へ各ロータリアンが足を運んで、合計 1,917,000 円を地区にお渡しすることが出来ました。

こんな形での IM でしたが、分区の会長さんと分区内すべてのロータリアンに感謝の気持ちでいっぱいです。1 年間私を支えてくれたガバナーと地区役員の方々に、お礼申し上げます。ありがとうございました。



2021-22 年度を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 第 7 分区ガバナー補佐

風間 常樹彦 (越後春日山 RC)

「光陰矢の如し」、過ぎ去って見れば早い一年でした。前年度よりの COVID-19 の感染拡大でロータリー活動が延期、中止などいろいろ影響を受けた年度でした。高尾茂典ガバナー、浅妻地区幹事をはじめ、役員、事務所のスタッフのご苦勞は大変だったことと推察します。

第 7 分区は、事務所からの適切なご指導のおかげで、高尾ガバナーの運営方針に沿って、各クラブの会長幹事の協力に対応できましたことを有り難く感謝のみです。

ガバナー公式訪問は、直接訪問 3 クラブ、ZOOM 訪問 4 クラブ、全て予定通りに運営できました。IM (インターシティーミーティング) は、令和 3 年 11 月 20 日 (土) に 125 名のロータリアンが集い、懇親会も設けて開催しました。今になって見れば、あの時しかなかったと思います。

ロータリー奉仕デーは年度終了近くでしたが、第 7 分区は二百数十名の参加で、地理的なこともあり、2 会場に分かれ海岸清掃を実施しました。

このように振り返ってみれば、多くのロータリアンに支えていただいた 1 年だったと感謝とお礼の気持ちでいっぱいです。多くのロータリアンの皆様、ご苦勞さまでした。





会員増強・戦略・広報委員会 大委員長の3年間を振り返って

国際ロータリー第2560地区
2021-22年度 会員増強・戦略・広報委員会
委員長 **山崎 堅輔** (中条 RC)

大谷ガバナー年度、佐藤ガバナー年度、高尾ガバナー年度の3年に亘る大委員長の任期もいよいよ満了となりました。

2019年7月からスタートした大谷ガバナー年度が年改まり、新年を迎えた2020年1月、横浜港に入港したクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号から何か得体のしれないウイルスに感染した患者が発生というニュースから始まったCOVID-19 コロナウイルスは、アツと言う間に世界中に感染拡大し、続く佐藤ガバナー年度、高尾ガバナー年度では、従来行われていたイベントは殆どのものが中止、延期、はたまた手法を変えて、どうやって実施したらよいものかと言ったことの連続でした。

しかし、スタッフの皆様の粘り強い努力のお陰で色々な手法に切り替え、最終的には感染予防対策をきちんと施した上で実施することが出来ました。それぞれのガバナー年度の地区会員増強委員長、地区広報公共イメージ向上委員長の努力の賜物であり、改めて感謝と敬意を表したく存じます。有難うございました。

大委員長就任当初から申し上げておりましたが、会員増強委員会の役割は、会員数を増やすことだけが目的ではないと思っております。読んで字の如く、強くしなければいけないのです。RI 会長方針として年度中に会員数を130万という目標を掲げておられますが、会員を増やすことイコール会員増強という認識が強く感じられます。何れにしても、それぞれのクラブの会員の皆様が充実したロータリー活動にいそしまれることを願って止みません。3年間、誠に有難うございました。



良いクラブを作りましょう！

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 会員増強委員会

委員長 田中 雅史 (新潟南 RC)

この 1 年を振り返れば、会員増強委員会をお預かりしながら、地区に対して然したる役目を果たせなかったことをまずもってお詫び致します。

会員増強に関する情報共有を目指し、年度当初より、「会員増強セミナー」を計画していましたが、コロナ禍で実施できませんでした。代わりにメディア活用と思い、「会員増強レポート」を発刊致しましたが、当初企画の年度内 3 回発刊を果たせず、2 回のみで終わり、情報共有メディアとして十分な成果を得ることもできませんでした。加えて、五泉クラブの活動終了は、断腸の極みとなりました。当該地域で私たちの精神を流布できる受け皿が消滅してしまったのですから。

いま多くのクラブが、会員数の減少という事態に直面しています。そして、本当に憂うべきは、この状況をクラブの危機と意識せず過ごすことでしょう。ロータリー活動の原点は、クラブです。楽しくて為になるクラブに人は集います。ぜひ良いクラブをお作りいただきたいと思えます。

最後に、私の思うところを温かく受け止めて下さった大委員長の山崎堅輔パストガバナー、並びに所属の分区を快く担当して下さい下さった 7 名の委員会メンバーに厚く御礼申し上げて、1 年の締め括りとさせていただきます。



2021-22 年度を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 職業奉仕委員会

委員長 **山田 隆一** (新潟 RC)

今年度、職業奉仕委員会は、国際ロータリーテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」及び地区テーマ「ロータリーを学び、ロータリーを広げよう。」を標榜にしました。

ロータリーの職業奉仕の理念は、1905 年、ポールハリスがシカゴでロータリーを創立した目的、綱領に「進歩的で尊敬すべき商取引の方法を推進する」と書かれた一文が原点となります。この理念は、100 年以上たった今の私たちの社会や会社、企業活動にとっても大変示唆に富む言葉であり、ロータリーの職業奉仕活動の軸となります。そんなロータリーの職業奉仕理念の経緯や歴史を知って頂き、それを現代の皆さんや各クラブの地域状況に合わせ、クラブの職業奉仕のあり方を考えて貰いたいと思いました。

コロナ対応で活動自体は制限されましたが、地区研修ではオンラインで合間を縫って例会卓話でその趣旨をお伝えしたつもりです。地区の職業奉仕委員会として、各クラブの職業奉仕活動のヒント、お手伝いとなれば幸いに存じます。

1 年間、ありがとうございました。



2021-22 年度を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 社会奉仕委員会

委員長 加地 正樹 (新潟西 RC)

スタートした当初は、1 月から 2 月くらいにはコロナもある程度収まり、セミナーの開催を考えていましたが、なかなか先が読めず、3 月になって一堂に会しての開催は時間的に不可能と思い、急遽 DVD の視聴によるセミナーに振り替えることにしました。

DVD セミナーの講師には、当初から集合研修で予定していた新潟県フードバンク連絡協議会の事務局長小林淳様をお願いして、収録にも 2 時間くらいの時間をかけて作成し、大変意義深いものが出来上がったと思います。フードバンクの成り立ち、現状とその課題について、そして我々ロータリアンが出来ること、考えさせられることがとても多くあり、今後の取り組むべき課題と感じました。

コロナに振り回されっぱなしの 1 年でしたが、少しは今後に繋がったと思います。1 年間、ありがとうございました。





活動報告

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 国際奉仕委員会

委員長 徳永 昭輝 (新潟 RC)

高尾年度の活動方針目標として、①海外の友好・姉妹クラブとの交流の促進、②グローバル補助金や地区補助金を活用した海外での奉仕プロジェクトの促進、③国際奉仕フォーラムディスカッションの開催、④ヒューストン国際大会への参加を掲げましたが、コロナ感染症の影響もあり、期待された活動ができませんでした。

しかし、2560 地区の RC が過去に取り組んだ①グローバル補助金を活用した奉仕活動、②海外の姉妹クラブ・友好クラブとの交流について、アンケート調査を実施することができました。2560 地区の 54 クラブから回答があり、

①グローバル補助金・地区補助金による国際奉仕活動には、共同事業として参加した 5 クラブを含め、地区内では 19 クラブが取り組んでいました。

②海外の友好・姉妹クラブと提携して活動していたクラブは、16 クラブでした。

9月28日には、三条北 RC の例会で、アンケート調査結果について卓話で報告しました。

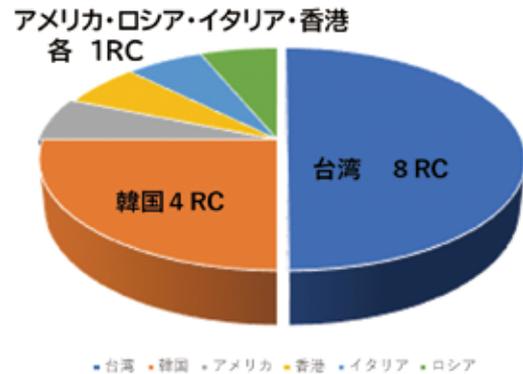
当初予定した 8 月には開催できませんでしたでしたが、令和 4 年 5 月 7 日 (土)、ホテルオークラ新潟で、高尾ガバナー、高橋ガバナーエレクトにも参加いただき、「国際奉仕フォーラムディスカッション」を開催することができました。国際奉仕活動については、新発田 RC: タイ国とのグローバル補助金事業、新潟中央 RC: グローバル補助金事業、白根 RC: グローバル補助金事業、長岡東 RC: モンゴルにおける補助金事業について、それぞれ報告して頂きました。また、海外友好・姉妹クラブとの活動については、十日町 RC: イタリアコモ RC、新潟万代 RC: ホノルルサンライズ RC、新潟 RC: 香港島東 RC との交流について、それぞれ報告して頂きました。今後の課題として、コロナ感染が終息しない状況で、①グローバル補助金・地区補助金による国際奉仕活動にどのようにしたら多くのクラブが参加できるか、②国際奉仕活動や海外との友好・姉妹クラブ交流の在り方など検討が必要であると思います。

残念だったことは、コロナ感染拡大の影響で、ヒューストン国際大会への参加を断念したことでした。

ご協力頂いた地区の各 RC の皆様に感謝申し上げます。

国際ロータリー、第2560地区における 海外における友好クラブ・姉妹クラブの現状

姉妹クラブを持つクラブ 16RC



2560地区における国際奉仕事業の特色

1. グローバル補助金を使った事業

援助国: タイ・韓国・ミャンマー・フィリピン・台湾

ベトナム・モンゴル・バングラディッシュ・ポリビア・カンボジア・インドネシア

活動分野: ①平和の推進

②疾病との闘い…新発田、新潟南、新潟東、新潟万代、新潟中央、水原、新潟西
三条、三条南、三条東、三条北、高田東、

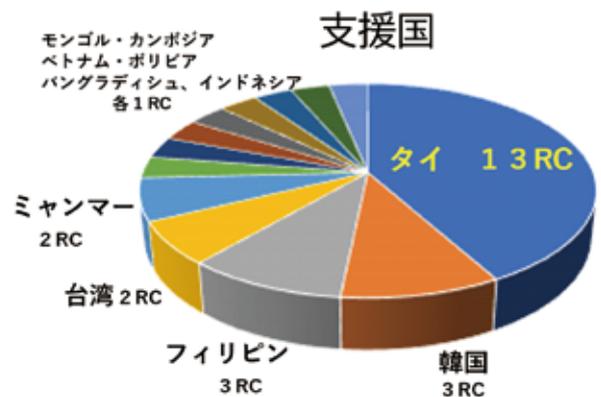
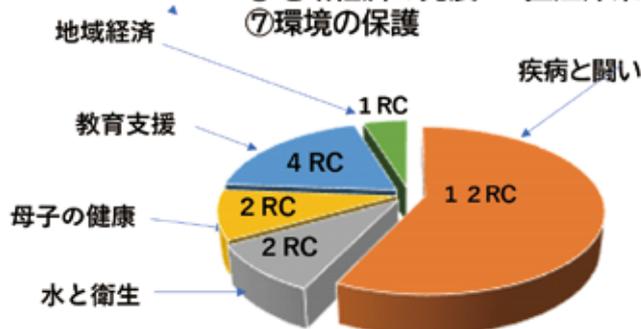
③水と衛生…三条、2560地区

④母子の健康…新潟、柏崎東

⑤教育の支援…新発田中央、新潟南、長岡東、白根、(高田東、雪国魚沼)

⑥地域経済の発展…直江津東

⑦環境の保護



2021-22 年度 国際奉仕フォーラムディスカッション

2022.5.7 ホテルオークラ新潟





2021-22 年度を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 青少年奉仕委員会

委員長 上村 宏 (長岡東 RC)

2017-18 年度にローターアクト委員として、地区青少年奉仕委員会に参加させていただいて以来、継続して足掛け 5 年間、本地区青少年奉仕委員会の活動に関わらせていただきました。特に 2021-22 年度は、青少年奉仕委員長という大役を務めさせていただき、緊張感のある日々の連続でしたが、この間、多くの皆様にご指導ご協力頂き、至らない点多々あったかと思いますが、お陰様で無事務め上げることができました。

皆様ご承知の通り、ロータリー 5 大奉仕の第 5 部門である青少年奉仕を司る当委員会は、インターアクト、ローターアクト、ライラ、青少年交換の 4 部門で構成され、様々な年代の青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することを目的に活動しています。それぞれの活動において、ロータリアンが各世代の方と共に活動する機会が多いことから、その活動の成果を直に感じることができ、個人的にも多くの事を逆に若い世代の方から学ばせていただく機会があり、とても充実した日々を過ごさせていただきました。

しかしながら、COVID-19 感染拡大に伴い、この数年は、以前と同様に活動することが困難になり、残念ながら 2021-22 年度も、青少年交換事業、インターアクト年次大会、インターアクト台湾交流事業などが中止になりました。その一方で、昨年 10 月には、2 年ぶりにライラ研修がオンラインで、新しい生活様式に対する多くの気づきも得られる充実した内容で実施されました。ローターアクトも、オンラインツールを駆使しながら地区行事、地区内会長幹事会議を継続開催し、本年 3 月にはハイブリッド形式で地区大会を実施するなど、各委員会が今できることを最大限に考えながら活動し、成果を上げてくれました。

今後の活動においても、まだまだ COVID-19 収束への道のりが不透明な情勢の中で、以前と同様の活動を再開できない可能性があります。ロータリークラブが誇るこの素晴らしい各青少年奉仕プログラムが、今後も進化発展することを心より願っています。

個人的にも、今後も所属クラブでの活動を中心に、この 5 年間の経験を活かし、本地区の青少年奉仕活動が更に充実したものになるように尽力させていただきます。

今後とも、よろしく願いいたします。



2021-22 年度を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 インターアクト委員会
委員長 佐藤 真介 (新潟東 RC)

今年度、地区インターアクト委員長を拝命しておりました新潟東ロータリークラブの佐藤と申します。1 年間、青少年奉仕活動にご支援、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

2560 地区のインターアクトは、高校生が主体となり、現在は 10 校の高校において、インターアクトクラブ活動が行われております。地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員との交流を通じて、視野を広げ、国際感覚を養っています。

地区の大きな行事としては、「年次大会」・「献血呼び掛け活動」・「海外研修」・「国際交流事業」などがあり、さまざまな奉仕活動や自己啓発の場として、活動を支援しております。

年度が始まってすぐに開催するのがインターアクト年次大会です。10 校のインターアクターが集まり、グループでの研修、活動報告などを通じて、他校のインターアクターと交流することが目的となっています。

今年度は、7 月 17 日・18 日の 2 日間で開催を予定しており、1 年前から新潟東ロータリーの実行委員会と敬和学園高等学校との間で、色々なプログラムを考えてきました。前年度は、COVID-19 が猛威を振るい開催できる状況ではなく、今年度は落ち着くだろうと願っていましたが、状況は変わらず、この状況下では高校生にリスクがあることから、ホスト校の敬和学園高等学校とも何度か話し合い、中止とさせていただきます。2 年連続での中止となり、県内インターアクターの年一度の交流の場が作れず、大変残念に思います。

12 月には、毎年開催しております献血呼び掛け活動が、COVID-19 が若干落ち着いた時期でもあり、新潟市内、上越で開催できたことは良かったと思います。

3 月に開催予定だった台湾研修は、2840 地区 (群馬) との合同事業であり、30 年という歴史がある事業で、インターアクターも毎年楽しみにしていて、高校生にとっては大変素晴らしい体験ができる事業です。この事業についても、準備の段階で状況が読めず、海外に行ける状況ではなかったことで 3 年連続の中止となりました。それに伴い、台湾のインターアクターが来日する国際交流事業も中止となりました。いつの日か、この事業が復活できることを願っております。

1 年を振り返りまして、学校単位では、安全を考慮しながら奉仕活動を実施しているという話を聞いておりましたし、ロータリー奉仕デーにも、たくさんのインターアクターが参加してくれました。地区インターアクト委員会としては、高校生に色々な経験をさせてあげたいと思っております。安心安全な事業ができるよう試行錯誤しながら、新たなやり方で活動ができればと思っております。一人でも多くのロータリアンがインターアクターに興味を持っていただくことで、青少年の皆はやりがいを感じると思いますし、ロータリアンと接することで色々な勉強ができると思います。

ロータリアンの皆様には、提唱クラブに関わらず、今後にご支援、ご協力を宜しくお願い致します。



2021-22 年度を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 ローターアクト委員会
委員長 飯塚 宏佳 (高田 RC)

2021-22 年度 (高尾年度) にて、地区ローターアクト委員長を務めさせていただきました飯塚です。ローターアクト委員会は 3 年委員会、3 年目で委員長をする流れになっており、私も最終年度になり、委員長を拝命いたしました。

クラブでも青少年委員会に所属していましたので、アクトのメンバーとの交流や委員会の委員としての活動には不安はありませんでしたが、委員長となると、実務的なものや寄稿文・祝辞など不得意なことが沢山あった事、また、昨年までコロナ禍により多くの活動が対面で行えなかったことにより、先代委員長の仕事を直接見られなかったことが不安材料でした。

幸い、青少年奉仕大委員長の上村様、副委員長の関根様とは 3 年間一緒に活動してこられたので、気兼ねなくいつも質問させてもらい、助けていただきました。3 年委員会というのは、とても良いシステムだなあと感じております。

今年度もコロナ禍が続き、対面での地区行事は行えませんでした。そんな中でもタイミングに恵まれて高田・新潟南両クラブの 50 周年式典、そして何より地区大会が無事に開催できたことが今年度の成果だったのではないかと思います。

ローターアクターたちを見ていると、その成長や新しい方式への対応力にいつも感心させられます。コロナ禍において活動に制約がかかり苦しい中でも、オンライン運動会をゲーム形式で行ったり、YouTube を始めたりと新たな試みを頼もしく見させてもらいました。

地区大会でも歴代地区代表が登壇し、自分達の時の活動を振り返ったり、これから先のアクターへの期待やアドバイスなど活動を充実させるための討論がなされ、過去から現在そして未来への絆を感じることができました。

国際ロータリーのローターアクトへの対応が変化し、今後、日本でのローターアクト活動にとってどのように作用していくかは年月を経なければ分からないかもしれませんが、厳しい時こそ、ロータリーの青少年奉仕の心を忘れず、今後も陰ながら応援していければと思っております。

1 年間、頼りない委員長で皆様にご心配迷惑おかけしました。この場を借りて、感謝申し上げます。今後とも、ローターアクトの活動にロータリアンの皆様の温かな友情と支援の程、よろしくお願い致します。





2021-22 年度を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 ライラ委員会

委員長 橋本 英俊 (栃尾 RC)

新年度が始まり、新しい活動が動き出しております。前年度は、一昨年に続き、COVID-19 の影響を受けた 1 年でした。前年度に、ライラ委員長を務めさせていただきまして、此度ガバナー月信の原稿を通して、前年度を振り返る貴重な機会をいただきました。この機会に、ライラとの関わりから振り返ってみたいと思います。

思い起こせば今から 4 年前、2018-19 年度の事で御座いました。所属クラブより、地区へのライラ委員としての出向が決まったのが、クラブに入会して 1 年ほど経った頃でした。まだ入会したてで、ほぼ何もわからない状態で、参加させて頂いたのが上越市のホテルセンチュリーイカヤで開催されたライラ研修で御座いました。2018-19 年度の地区研修・協議会から始まり、よく雰囲気掴めないまま、ライラ研修に参加いたしました。

大勢の研修生とロータリアンそしてスタッフ、厳粛な雰囲気の開会セレモニーと講演と見学で構成された研修。残念ながら仕事の関係で、1 泊 2 日の日程の初日しか参加できませんでしたが、その日程の中で、2 年後に委員長となって所属クラブの担当でライラ研修を開催することになると伝えられました。大変重要な事業を引き受けることになるということで、地元クラブに研修参加報告いたしました。

ちょうど開催予定の年度が当クラブの周年事業と重なり、ライラ研修を主管するには負担が大きすぎるとのこと、次に開催予定だった分水 RC に順番を代わっていただくこととなりました。そして迎えた 2019-20 年度の地区研修・協議会と事前に開催された青少年奉仕委員会、その交流の中で、当クラブ主管のライラ研修の概要が固まってきたような記憶があります。

そして、舞子高原ホテルで開催された 2019-20 年度ライラ研修は、ガバナーの強い意向で 2 泊 3 日の日程でより中身の豊富なものとなりました。委員長はじめ、実行委員となられたスタッフの方々の並々ならぬ活躍の姿が垣間見える研修でした。とてもここまでの研修会は主管できないとの思いを抱きながら、会場を後にしたことが思い出されます。

そして迎えた 2020-21 年度、ここから思いがけない形で COVID-19 の影響を大きく受け始め、ライラ研修については中止という結果となりました。担当予定だった委員長はじめ分水 RC の皆様の残念な思いは察するに余りあります。

そのような状況が継続している中で、2021-22 年度が始まりました。とにかく、この状況下で開催できる方法を模索し、内容・主題などは大きく変えずに、出来るだけ簡素化して実行することを念頭に計画を練り直し、感染状況の変化に対応し、宿泊なしの 1 日開催案から一部リモート、そして全面リモートと開催形式を変更しながら、この度の実施に至りました。できれば通常の形式で開催できたらとの思いはありますが、参加者への配慮と、次への橋渡しという意味では実施できてよかったとの思いでございます。



1 年を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 ロータリー財団委員会
委員長 **新保 清久** (新潟万代 RC)

各クラブの皆様には、今年度もロータリー財団をご支援していただき、大変有難うございました。2 年間にわたるコロナ禍と今年 2 月のロシアによるウクライナ侵攻で、私たちは、政治、経済、社会等あらゆる面で深刻な影響を受けていますが、一方では、世界中で人々が困難な状況に直面している中、ロータリーとロータリー財団の果たす役割がますます大きくなっているものと思います。

ロータリー財団の使命【ロータリアンが、(人々の) 健康状態を改善し、(人々の) 教育への支援を高め、(人々の) 貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること】を胸に刻んで、今後とも変わらぬご支援をお願いします。

簡単ではありますが、高尾年度の委員会報告をします。

(1) 委員会活動

コロナ対策を万全にした上で、昨年 8 月と今年 2 月に財団セミナー、補助金管理セミナー、地区補助金オリエンテーションを開催して、地区補助金、グローバル補助金やロータリー財団の理解に努めました。10 月の財団月間には、会員が手分けをして多くのクラブで卓話を行いました。

今年 4 月にグローバル奨学生の選考会、6 月に財団学友会総会を実施し、また、財団情報の共有や課題の解決のために、財団ミーティングを 7 回開催しました。

(2) 地区の寄付実績 (令和 4 年 6 月末現在)

年次寄付 145.55 ドル/人。ポリオプラス寄付 26.14 ドル/人

地区内全クラブから年次基金の寄付をしていただきました。(ゼロクラブ・ゼロの達成)

(3) 地区財団活動資金 (DDF) の報告

○地区補助金：36 件の奉仕プロジェクトが各クラブの地元で実施されました。

○グローバル補助金：3 件の人道奉仕プロジェクトと 1 件の奨学金を採択しました。

☆タイ国「疾病の認識・予防教育・治療プロジェクト」(新潟中央 RC)

☆マレーシア国「自閉症やダウン症などの生徒たちのための教育整備とその専門教師のトレーニングプロジェクト」(高田東 RC)

☆タイ国「ドイ・ジョラケ丘陵の環境保全プロジェクト」(新潟西 RC)

☆財団奨学生：今秋イギリスへ留学するグローバル奨学生 1 名採用。

○寄付：ポリオプラス基金に 2 万ドル、平和センター基金に 1 万ドル、更にウクライナの人道支援として 3 万ドルをロータリー災害救援基金に寄贈しました。

最後になりますが、3 年間にわたり財団委員会各位のご協力をいただき、委員長を務めることができました。皆様に心より感謝申し上げますとともに、佐藤次年度委員長はじめ次年度財団委員会各位の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



2021-22 年度を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 米山記念奨学委員会
委員長 中町 圭介 (小千谷 RC)

本年度の米山記念奨学委員会は、まさに COVID-19 との闘いになりました。

当委員会は、大きく 3 本の柱で成り立っています。

1 本目の柱は、事業の運営に係る費用=寄付金を地区ロータリアンにお願いし、集めることです。COVID-19は、様々な形で世界経済・日本経済を脅かし、甚大な被害を受けた業種が多々ありました。ロータリークラブを脱会せざるを得ない人もいました。このような状況ではありましたが、全クラブより賛同いただき、総額 35,015,885 円、個人平均金額で 17,232 円となりました。ありがとうございました。

2 本目の柱は、米山記念奨学生を選ぶ事業です。奨学生は、学校の成績、指導教官の推薦状、選考日当日の選考委員との面接、そして最大の評価ポイントである応募者による小集団ミーティングで選ばれます。今では入社試験もオンラインで行う会社もありますが、やはり生身の人間との対面・会話で行うことを重要と考え、3密を避け、抗原検査を全員実施し、行うことができました。

3 本目の柱は、奨学生、学友との交流です。各クラブでも地域の状況を鑑み、例会の休会をやむなく行いました。奨学生も授業がオンラインとなり、人々との交流が希薄になり、寂しい時間をすごしているとの思いから、オンライン交流会 2 回を実施、感染症対策をしっかりと行っての「白山神社への初もうで」。参加者は大喜びでした。

委員会のセミナー・研修会は、オン・オフをその時点での最善を尽くしたつもりです。COVID-19 終息後も、オン・オフのそれぞれの利点を活かした会議体を考える必要があると思います。





ロータリーと地域防災ネットワーク

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度ロータリー地域協働ネットワークセンター
センター長 **清水 信博** (高田東 RC)

昨年度、高尾年度でセンター長をさせて頂きました清水です。1 年間、高尾ガバナー、浅妻地区幹事をはじめ、地区役員の皆様、各クラブ会長や連絡員をお引き受け頂いたメンバーの皆様、大変ありがとうございました。コロナ禍のなか、防滅災セミナーなど、当初の予定事業を何とか無事終了する事が出来ました。

「ロータリーと防災」はどんな関係があるのか？当ネットワークセンターが設立され、15 年近く経とうとしていますが、疑問に思われるメンバーは少なくありません。

この第 2560 地区、新潟県は、地震の被災県です。昭和 39 年の「新潟地震」に始まり、「中越地震」、「中越沖地震」が起きました。それ以外にも多くの地震を県民が経験し、復興を重ね、現在の生活が成り立っています。また、豪雨による水害被害や土砂災害の被害も少なくありません。今後もこのような災害に見舞われるかもしれません。いや、必ず、襲ってくるでしょう。

災害時の後方支援としてのロータリー地区内でのネットワークは、他の地区ではほとんど組織されていません。ある意味、災害経験県である当地区の特殊性だと思います。

地区内（県内）で情報共有し、被災地域へ必要な物資や人的資源を投入していく活動は、ある意味での職業奉仕でもあり、社会奉仕でもあり、被災クラブ内を運営・維持していくお手伝いは、クラブ奉仕にも繋がっていくと考えております。また、近年提唱されています「公共イメージの向上」にも貢献していく事になると思います。

関係他団体との交流を深化しながら、当センターの活動内容の精度も上げていかなければなりません。いざという時に被災クラブに「ヒト、モノ、カネ、情報」を適時、適度、的確に届けられるよう、今後もセンター運営を進めて参ります。

今年度、高橋年度も宜しくお願い致します。





ロータリー奉仕デー開催報告

ロータリー奉仕デー実行委員長
安藤 幸夫 (新潟東 RC)

1 ロータリー奉仕デー開催される

本年6月18日(土)、当地区における2021-22年度ロータリー奉仕デーが開催されました。ロータリー奉仕デーは、シェカール・メータ RI 会長が当年度の優先活動項目の一つとして挙げたものですが、当地区では、「新潟県内の海岸・河川・湖沼等の環境美化活動」として企画されました。活動のテーマは、「子どもが安心して暮らせる笑顔の地球」であり、国際ロータリーの重点目標である「環境の保護」、「平和の推進」を地域レベルで実現していくことを目指して行われました。

2 活動内容

当地区では36クラブが参加し、うち27クラブが6月18日に環境美化活動を実施しました。参加人数は6月18日を中心に総勢1619名で、その内訳は、ロータリアン・米山奨学生等の関係者812名のほか、一般市民807名が参加する大規模な活動となりました。奉仕デーの要件として、「一般市民25パーセント以上の参加」が義務付けられていましたが、これを大幅に上回るものとなりました(写真①~④)。

3 当地区における工夫

今回のロータリー奉仕デーの開催にあたり、当地区では以下の工夫をしました。

(1) センター会場と各クラブの活動会場との中継

新潟日報メディアシップ20階にセンター会場を設け、各クラブの活動場所との中継を行いました(写真⑤)。これは、コロナ



写真①



写真②



写真③



写真④

禍により地区内のクラブと一緒に活動することができない状況が続いていたことから、中継により各クラブを繋ぎ、ロータリーとしての一体感を醸成したいという思いで行われました。

(2) エコバッグデザインの公募、採用作品の表彰等

今回の活動を記念し、テーマである「子どもが安心して暮らせる笑顔の地球」を表現するデザインを募集し、それを付けたエコバッグを参加者に配布しました。大賞として新潟デザイン専門学校の学生であるサイ・ユキさんの作品が選ばれ（写真⑥⑦）、センター会場では表彰式も行われました。また、応募いただいた作品もセンター会場に展示されました。

4 まとめ

前日までは雨の予報でしたが、当日は天気にも恵まれ、素晴らしい奉仕デーとなりました。活動内容も、海岸・河川付近・堀（の跡？）など様々な場所で、クラブ合同や中学生と一緒になど、各クラブの創意と自主性で行われました。また、この活動は、テレビ、新聞等のメディアにも数多く報道していただき、市民への絶好のアピールにもなりました。

各クラブの皆様には、奉仕活動の準備、多くの一般市民への勧誘、センター会場との中継などにご尽力を賜りましたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。

最後に、高尾ガバナーの談話をご紹介します。

「地区協議会、PETS、地区大会と、地区内の多くのロータリアンのふれあいが十分でない年度でありましたが、皆で気持ちを合わせて一つの奉仕に取り組めたことは、貴重な機会であり、意味のあるものとなりました」 ～高尾茂典ガバナー～

以上



写真⑤



写真⑥



写真⑦

分区	クラブ名	ロータリー財団寄付						ロータリー米山記念奨学会寄付					
		会員数 (21/07/01)	年次基金一 人当り寄付額 (\$)	2021年7月1日 - 2022年6月30日(\$)				会員数 (22/01/01)	一人当たり 平均寄付額 (¥)	普通寄付金 単価(年額)	2021年7月1日 - 2022年6月30日(¥)		
				年次基金総計	その他の基金	恒久基金	合計				普通寄付金	特別寄付金	合計
R1 第2560 地区	第1分区	372	166.14	61,805.29	12,067.15	87.72	73,960.16	379	18,696	☆	2,066,000	5,019,600	7,085,600
	第2分区	434	141.15	61,259.45	15,575.18	1,000.00	77,834.63	449	16,346	☆	1,775,000	5,564,150	7,339,150
	第3分区	97	124.54	12,080.75	2,314.66	0.00	14,395.41	99	19,594	☆	394,000	1,545,805	1,939,805
	第4分区	366	107.64	39,395.13	8,066.51	0.00	47,461.64	362	15,155	☆	1,388,000	4,098,000	5,486,000
	第5分区	296	129.16	38,232.28	8,355.51	216.55	46,804.34	299	19,465	☆	1,218,000	4,602,000	5,820,000
	第6分区	122	263.33	32,125.81	3,095.62	0.00	35,221.43	125	16,026	☆	619,280	1,384,000	2,003,280
	第7分区	312	147.60	46,051.09	10,127.72	96.49	56,275.30	319	16,746	☆	1,622,000	3,720,050	5,342,050
	合計	1,999	145.55	290,949.80	59,602.35	1,400.76	351,952.91	2,032	17,232	☆	9,082,280	25,933,605	35,015,885
第1 分区	新発田	93	195.96	18,224.36	3,810.00	0.00	22,034.36	93	20,000	10,000	930,000	930,000	1,860,000
	村上	38	152.87	5,809.18	865.20	0.00	6,674.38	39	16,153	4,000	156,000	474,000	630,000
	水原	32	227.28	7,272.95	1,410.00	87.72	8,770.67	32	17,500	4,000	126,000	434,000	560,000
	中条	41	151.56	6,214.09	1,381.95	0.00	7,596.04	44	21,750	4,000	168,000	789,000	957,000
	新発田城南	40	107.45	4,297.90	610.00	0.00	4,907.90	39	16,579	4,000	158,000	488,600	646,600
	豊栄	20	103.39	2,067.87	720.00	0.00	2,787.87	24	16,083	4,000	96,000	290,000	386,000
	新発田中央	44	160.23	7,050.00	1,410.00	0.00	8,460.00	45	19,955	4,000	178,000	720,000	898,000
	中条胎内	36	191.09	6,879.12	1,080.00	0.00	7,959.12	36	16,888	4,000	144,000	464,000	608,000
村上岩船	28	142.49	3,989.82	780.00	0.00	4,769.82	27	20,000	4,000	110,000	430,000	540,000	
第2 分区	新潟	82	147.42	12,088.76	1,080.18	1,000.00	14,168.94	88	8,513	4,000	328,000	421,150	749,150
	新潟東	62	109.03	6,759.92	3,625.00	0.00	10,384.92	66	14,969	4,000	248,000	740,000	988,000
	新潟南	106	171.73	18,203.89	1,985.00	0.00	20,188.89	108	18,694	4,000	420,000	1,599,000	2,019,000
	佐渡	6	94.57	567.39	0.00	0.00	567.39	5	22,800	4,000	22,000	92,000	114,000
	新潟西	39	137.61	5,366.81	2,250.00	0.00	7,616.81	40	20,275	4,000	156,000	655,000	811,000
	佐渡南	40	66.63	2,665.13	1,755.00	0.00	4,420.13	41	9,365	4,000	164,000	220,000	384,000
	新潟北	37	150.29	5,560.60	1,110.00	0.00	6,670.60	38	19,947	4,000	148,000	610,000	758,000
	新潟中央	21	179.81	3,775.95	2,740.00	0.00	6,515.95	21	27,380	4,000	84,000	491,000	575,000
新潟万代	41	152.95	6,271.00	1,030.00	0.00	7,301.00	42	22,404	5,000	205,000	736,000	941,000	
第3 分区	新津	17	120.43	2,047.24	0.00	0.00	2,047.24	17	10,235	4,000	68,000	106,000	174,000
	村松	12	149.69	1,796.23	303.16	0.00	2,099.39	11	4,181	4,000	46,000	0	46,000
	五泉	11	150.00	1,650.00	330.00	0.00	1,980.00	11	4,000	4,000	44,000	0	44,000
	白根	29	105.17	3,050.00	930.00	0.00	3,980.00	30	38,833	4,000	120,000	1,045,000	1,165,000
	新津中央	22	133.51	2,937.28	751.50	0.00	3,688.78	24	20,283	4,000	92,000	394,805	486,805
	阿賀野川ライン	6	100.00	600.00	0.00	0.00	600.00	6	4,000	4,000	24,000	0	24,000
第4 分区	三条	56	95.72	5,360.54	1,729.91	0.00	7,090.45	57	19,964	4,000	226,000	912,000	1,138,000
	燕	34	64.03	2,176.85	340.00	0.00	2,516.85	32	6,437	2,000	66,000	140,000	206,000
	加茂	33	45.06	1,486.89	263.10	0.00	1,749.99	34	9,235	4,000	134,000	180,000	314,000
	三条南	44	105.23	4,630.00	1,140.00	0.00	5,770.00	39	19,205	4,000	164,000	585,000	749,000
	分水	29	109.55	3,176.92	0.00	0.00	3,176.92	29	16,758	4,000	116,000	370,000	486,000
	見附	21	138.20	2,902.20	210.00	0.00	3,112.20	21	6,000	4,000	84,000	42,000	126,000
	吉田	28	63.04	1,765.00	870.00	0.00	2,635.00	31	7,806	4,000	120,000	122,000	242,000
	三条北	58	243.17	14,103.87	2,655.51	0.00	16,759.38	56	23,875	4,000	228,000	1,109,000	1,337,000
	巻	25	34.09	852.17	0.00	0.00	852.17	24	18,583	4,000	92,000	354,000	446,000
	田上あじさい	7	32.97	230.76	0.00	0.00	230.76	6	5,000	5,000	30,000	0	30,000
三条東	31	87.42	2,709.93	857.99	0.00	3,567.92	33	12,484	4,000	128,000	284,000	412,000	
第5 分区	長岡	45	153.14	6,891.13	1,365.65	0.00	8,256.78	45	20,000	4,000	180,000	720,000	900,000
	柏崎	41	23.24	952.64	1,230.00	0.00	2,182.64	41	7,658	4,000	164,000	150,000	314,000
	長岡東	52	186.32	9,688.60	1,650.00	0.00	11,338.60	54	22,814	4,000	212,000	1,020,000	1,232,000
	柏崎東	45	66.67	3,000.00	1,380.00	0.00	4,380.00	46	20,478	4,000	182,000	760,000	942,000
	栃尾	25	219.74	5,493.43	750.00	76.20	6,319.63	25	20,000	4,000	100,000	400,000	500,000
	長岡西	50	193.84	9,691.92	1,812.67	140.35	11,644.94	49	25,714	4,000	200,000	1,060,000	1,260,000
柏崎中央	38	66.17	2,514.56	167.19	0.00	2,681.75	39	17,230	4,614	180,000	492,000	672,000	
第6 分区	十日町	32	258.53	8,273.04	960.00	0.00	9,233.04	32	20,156	5,000	165,000	480,000	645,000
	小千谷	30	486.74	14,602.30	885.62	0.00	15,487.92	29	21,724	6,000	180,000	450,000	630,000
	雪国魚沼	20	204.54	4,090.85	360.00	0.00	4,450.85	24	10,000	5,000	120,000	120,000	240,000
	十日町北	18	109.16	1,964.85	510.00	0.00	2,474.85	18	17,222	4,000	76,000	234,000	310,000
	津南	16	146.80	2,348.87	320.00	0.00	2,668.87	16	10,250	4,000	64,000	100,000	164,000
越後魚沼	6	140.98	845.90	60.00	0.00	905.90	6	2,380	2,380	14,280	0	14,280	
第7 分区	高田	72	138.59	9,978.71	2,267.37	0.00	12,246.08	73	15,027	4,000	234,000	863,000	1,097,000
	直江津	69	162.71	11,227.19	2,070.00	0.00	13,297.19	69	20,043	10,000	690,000	693,000	1,383,000
	新井妙高	31	160.06	4,962.00	1,020.00	0.00	5,982.00	34	16,470	4,000	130,000	430,000	560,000
	糸魚川	41	155.67	6,382.53	338.58	96.49	6,817.60	43	12,302	4,000	170,000	359,000	529,000
	高田東	36	129.40	4,658.47	2,505.00	0.00	7,163.47	36	18,222	4,000	144,000	512,000	656,000
	糸魚川中央	28	164.64	4,609.81	772.29	0.00	5,382.10	28	24,501	4,000	112,000	574,050	686,050
	越後春日山	35	120.93	4,232.38	1,154.48	0.00	5,386.86	36	11,972	4,000	142,000	289,000	431,000
D2560	0	0.00	0.00	3,078.85	0.00	3,078.85				0	0	0	
	合計	1,999	145.55	290,949.80	62,681.20	1,400.76	355,031.76	2,032	17,232		9,082,280	25,933,605	35,015,885